

上連雀2～3丁目

3・4・9号線道路建設計画の

みなさんと一緒に

撤回に力をつくします

60年前の都市計画道路にしがみついている三鷹市

この計画道路は、昭和27年（1952年）に計画されたものです。自民党・公明党政権のとき、国交省は都市計画道路を廃止を含め見直しすべきとの見解を示していました。全国的にも見直しの動きが強まっています。

しかし、石原都政は、依然として推進の立場を崩していません。それに応じて三鷹市は、3・4・9号線道路を計画しました。その結果、平成18年2月の東京都の「多摩地域における都市計画道路の整備計画」（第三次事業計画）の中に、三鷹の3・4・9号線道路建設が明記されてしまいました。

森徹市議の市議会質問で、道路建設の根拠がないことが判明しました

森 徹市議は、平成18度の6月議会で、3・4・9号線道路の建設の必要の根拠をただしました。市当局は、防災ブロックの整備であると答えました。

森 徹市議は、「上連雀二丁目と三丁目は、三鷹電車区、調布・保谷線道路、新道北道路、三鷹通りに囲まれた狭い地域であり、こんなにも細かく区切られて完全な防災ブロックとなっているところは他にないこと」、「阪神・淡路大震災のときでも、火災は中学校区・一万世帯に一軒であったこと」を明らかにし、出火率の低い上連雀二丁目・三丁目に16メートルの道路が必要でないことを指摘しました。それに対して市側は、まともに答えることができませんでした。市当局の都市計画道路建設に邁進する姿をさらけだしました。



日本共産党 三鷹市議会議員
森
もりとおる
徹

Tel 46-6158

来年4月策定の基本計画から道路建設計画をはずさせるために奮闘します

60年前の都市計画道路にしがみついている三鷹市の態度によって、上連雀二丁目・三丁目の住民の財産と生活設計が脅かされています。こんな時代遅れの市政は許されません。

この道路建設は市道ですので、その立退き料や建設費用はすべて市費負担となります。おそらく数億円がかかるでしょう。こんなムダ使いをやめさせ、暮らし・福祉の充実にまわすべきです。